



平成26年度 「保育系学部生のための食育フィールド科学演習*」

(9月9日～12日)は終了しました

*東洋英和女学院大学人間科学部保育こども学科学学生対象

「保育系学部生のための食育フィールド科学演習」が開講されました

1. 本授業開講の趣旨

本演習は、他大学の教員が広島大学の西条ステーション（農場）を利用して、本研究科の教員と協力して学生に対する食育演習を実施したものです。利用した東洋英和女学院大学は非農学系の大学で、保育を学んでいる学生らが本農場において様々な実習を体験することで「食」と「農業（その源となる家畜の命）」の繋がりについて考え、将来保育士となる学生の専門性を高めることを目標としています。

2. 利用大学および利用者数

大学名：東洋英和女学院大学（保育こども学科）

利用者数：教員1名、学部生：15名

3. 講義及び実習内容

日付	時間	内容
9月9日	13:00	JR山陽線 西条駅集合→広島大学西条ステーションへバスで移動
	14:40	農場案内、注意事項についての説明
	15:20	バスで研修センターへ移動
	16:00	「演習ガイダンス」
	17:00	入浴・夕食
	19:30	「交流会」
	21:00	「課題テーマの説明と班員間での交流会」
	22:00	就寝
9月10日	7:00	起床・洗顔・朝食→バスで西条ステーションへ移動
	8:30	「家畜の飼養管理と搾乳作業①」（90分） *管理作業
	10:30	「家畜（ニワトリ）の体の仕組みをみる」（120分） *ニワトリの解剖
	12:30	昼食・休憩
	13:30	「保育と食育I」（120分） *講義
	16:00	入浴・夕食
	19:10	「農場技術専門員によるミニ講座」（50分） *講義
	20:00	「発表準備」
22:00	就寝	
9月11日	7:00	起床・洗顔・朝食→バスで西条ステーションへ移動
	8:30	「家畜の飼養管理と搾乳作業②」（90分） *管理作業
	10:00	「牧草から牛乳ができるまで」（50分） *講義
	11:10	「搾乳した生乳を加工する」（50分） *バターづくり
	12:00	昼食・休憩
	13:10	「保育と食育II」（100分） *講義
	15:00	記念撮影・発表準備など
	17:00	入浴・夕食
20:00	「発表準備」	
22:00	就寝	
9月12日	7:00	起床・洗顔・朝食→バスで生物生産学部へ移動
	9:05	課題発表会（120分）
	11:05	終了書の授与・昼食・アンケート記入
	13:00	バスで西条駅へ、西条駅にて解散

*演習の一部は平成26年度「命の尊厳を涵養する食農フィールド科学演習」と共同で行っています。

4. 演習の様子

「保育系学部生のための食育フィールド科学演習」では、演習の一部を「命の尊厳を涵養する食農フィールド科学演習」と共同で行いましたが、「保育と食育I・II」を広島大学と東洋英和女学院大学の教員が共同で担当し、実習で得たことを専門に活かすための知識を補いました。発表会では3班に分かれ、それぞれ「3匹のひつじと3つの思い」（ペープサート）、「食べ物の原点を探る保育計画」、「きゅうにゆうはどこからきているの？」（紙芝居）というタイトルで今回の実習で得たことを発表しました。



【1日目】農場案内



【2日目】農場技術専門員によるミニ講義



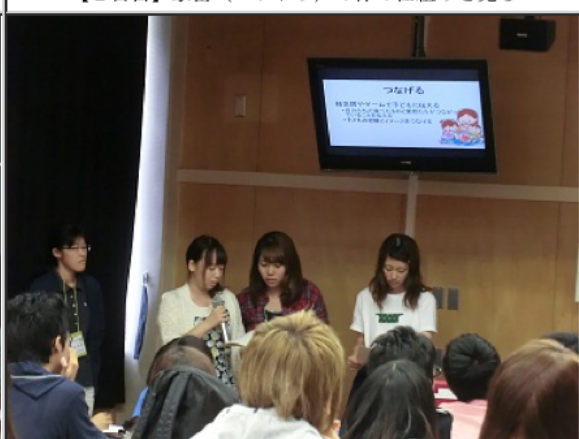
【2・3日目】管理作業（放牧）



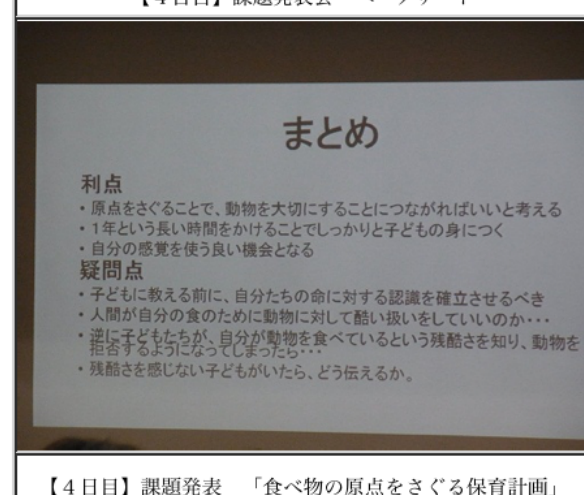
【2日目】家畜（ニワトリ）の体の仕組みを見る



【4日目】課題発表会 ペープサート



【4日目】課題発表 「食べ物の原点をさぐる保育計画」



まとめ

利点

- ・原点をさぐることで、動物を大切にすることにつながれば良いと考える

- ・1年という長い時間をかけることでしっかりと子どもの身につく

- ・自分の感覚を使う良い機会となる

疑問点

- ・子どもに教える前に、自分たちの命に対する認識を確立させるべき

- ・人間が自分の食のために動物に対して酷い扱いをしていいのか...

- ・逆に子どもたちが、自分が動物を食べているという残酷さを知り、動物を拒否するようになってしまったら...

- ・残酷さを感じない子どもがいたら、どう伝えるか。



【4日目】課題発表 「食べ物の原点をさぐる保育計画」

【4日目】課題発表 「きゅうにゆうはどこからきているの？」